



田園

一月号

聖フランシスコ カトリック田園調布教会

(No.618. 2013. 1. 1) 発行責任者 矢野 勉

☎ 03(3721)7271

〒145-0071 東京都大田区田園調布3-43-1

新年のご挨拶

主任司祭 ドミニコ竹内正美神父



明けましておめでとうございます。

新しい年が皆様方にとって「信仰年」の恵みの年となるようお祈りいたします。

仰の刷新のことを考えておられるようです。

教皇ベネディクト十六世は、第二バチカン公会議五十周年と「カトリック教会のカテキズム」発布二十周年を記念して、2012年10月11日より2013年11月24日までを「信仰年」とする、と宣言されました。

第二バチカン公会議は新しい教義の宣言ではなく、聖書や聖伝に立ち返って信仰の原点に立ち、溜まった長年の垢を洗い落として教会を刷新すると同時に、新しい時代に開かれた教会にするために開催され、見事にその成果を収められたと考えています。

考えてみますと、人生の歩みの50年はその人の人生の折り返し点とも言えます。

この「信仰年」を開催する意味がそこに見えてくるような気がします。

カトリック田園調布教会の信徒の半数以上は第二バチカン公会議による信仰の刷新を肌で感じたという経験がないわけではありません。

教皇様は第二バチカン公会議による信

教皇様は言われます。それは、今の時代が「信仰の深刻な危機」にあるからです。従って、この深刻な危機を乗り越えるために、あえてこの機会をとらえて信仰の門のくぐり直しを図り、合わせて新しい福

音宣教に弾みをつけたいというのが教皇様のお考えではないでしょうか？

「深刻な信仰の危機」とは何を意味するのででしょうか？

教皇様は次のように述べています。かつてはキリスト教信仰を「社会生活の当然の前提」と考えられてきたが、いまや「この前提は当然のものではなく、しばしば公然と否定されている」と。

ヨーロッパの国々を意識してのことでしょうか？

過去を振り返って見ますと、日本のカトリック教会は第二バチカン公会議の精神を受け止め、1987年(ちようご)25年前に「第一回福音宣教推進全国会議」(NICE-I)を開催しました。

開催前に全国でアンケート調査を行い「現在の日本のカトリック教会で何が問題であるのか」「何が重要な課題であるのか」と尋ねました。そこで指摘されたすべての問題に共通している要素は「遊離」

であると結論しました。

「遊離」とは「信仰が生活から遊離していること」「教会が社会から遊離していること」という分析が出されました。

その結果、全国会議の方向を「生活から信仰を、社会の現実から教会の在り方を見直す」という方針を定めました。

司教団はそれを受けて、「ともに喜びを持って生きよう」というメッセージを発表しました。

メッセージの趣旨は「信仰生活は、私たちとともにいてくださる神のみ前で、人々とともに、キリストの福音を信じる『喜び』に生きること」であると述べています。

第二バチカン公会議50周年、第一回福音宣教推進会議25周年経った今、皆さんお一人おひとりが関心を持つてこの二つの会議を心に留めながら、自分の信仰の刷新を行ってきたでしょうか。親が信仰を子供に伝え、教え、導き、またキリスト者として多くの人々を「主の食卓」

に導いてこられたでしょうか？残念ながら「そうだ」とは言えません。その点を深く反省しなければなりません。

「信仰年」を迎えている私たちは次のことに留意しながら実行してゆくよう心がけたいものです。

- ・「自分の信仰を確かめましょう」
- ・「自分の信仰を深めましょう」
- ・「自分の信仰を証し、伝えましょう」。

そのため第二バチカン公会議とカトリック教会カテキズムを学ぶ機会を持つように勧めます。

私たちキリスト者にも厳しい現実が立ちまわっています。しかし、だからこそ、私たちには多くの人々に希望の福音を告げる大きな役割があります。

「信仰年」を一年の恵みの年となるように、また教会の刷新のために互いに協力し支え合ってゆく一年にしたいと思います。

(教会連絡会)

十二月九日議事録

十八日 於上野毛教会

当教会からは十名が受堅信しました。堅信を受けた方には、後日、写真CDと、来年の堅信式のお手伝い要請の手紙をお渡しします。来年は当教会で行います。

だ男性が少ない印象です。

〔今後の行事予定〕

◎バザー・リセール(十二月九日)

黙想会を優先し、例年より一週間遅く開催しました。

◎竹内主任神父様のご挨拶とお祈り

バザーは皆さんのご協力のおかげで盛況でした。待降節の黙想会もかつてない多くの方が参加し、降誕祭にふさわしい準備ができたと思います。これからも精神的・霊的に豊かになる機会を持ちたいと思います。

◎バザー(十一月二十五日)

天気にも恵まれ盛況でした。「バザーお手伝いご苦労さん会」を十二月十六日に行います。初めて参加した方、お手伝いの方など幅広く意見を聞き、今後に生かします。

〔報告事項〕

◎七五三(十一月十一日)

九時ミサで十七名のお祝いをしました。お祝いを受けた方には、後日、教会手配のカメラマンが撮影した写真のCDと、来年の七五三のお手伝い要請の手紙をお渡しいたします。

◎待降節黙想会(十二月二日)

上野毛教会の中川博道神父様に「大転換期の中で、主を待ち望むこと」をテーマにご指導いただきました。当日は九時ミサをなくし、十時から開始しました。第一講話、十一時ミサ中の第二講話はほぼ満席、昼食をはさんだ第三講話、ゆるしの秘跡は少し減って二二〇〜一三〇名の参加でした。かつてない人数の参加でしたが、まだま

◎クリスマス・チャリティー・コンサート(十二月九日 十五時三十分) 於大聖堂

恒例のエクレシア・アンサンブルとハレルヤコーラスのコンサートを行います。今回は、大震災復興プロジェクトと共催とし、献金は会津若松教会を通じて、県内避難している福島の方々への支援に使用します(県外に避難している場合には公的支援がありますが、県内避難の方にはありません)。練習会場の件などで神父様やオルガン委員会をはじめ多くの方にご協力いただき、約八十名が参加するコンサートができます。ありがとうございます。

◎世田谷南官教協力体合同堅信式(十月二

◎活動会決算書提出

十二月九日が期限です。

◎地区集会引継ぎ会（十二月十二日 十三時三十分～十五時三十分）

◎クリスマスと新年のミサ

十二月二十四日 十五時、十七時（洗礼式あり）、二十時、二十三時。
十二月二十五日 十時（洗礼式あり）。
一月一日 〇時、七時、十時。十時ミサ後に教会新年会を行います。

◎一月の予定

一月十三日（日） 成人式（十二時ミサ）
対象者十四名。
一月二十日（日） もちつき

◎アントニオ金助祭の司祭叙階式

一月八日に韓国で行われます。祈りの花束をお贈りしますので、ご協力をお願いいたします。お祝いに参加するツアーを

企画しています（十二月九日申し込み締切）。

〔検討・審議事項〕

◎二〇一三年度活動会予算

教会委員会と財務委員会で審議し、ほぼ各会からの申請どおり承認する予定です。いくつかの会には活動内容について要望をすることになっています。予算は使い切らなければいけないものではありませんので、余る金額は無理に使わないようお願いいたします。

◎教会連絡会の変更について

多くの信徒に教会の情報伝達と情報交換を行うことを目的に、これまでの「教会連絡会」を変更し、二〇一三年は「信徒連絡会」として毎月第二日曜日九時ミサ後に大聖堂において行い、多くの信徒の参加をいただくことにします。

◎二〇一三年度行事予定

復活祭は三月三十一日、宣教協力体の堅信式は当教会で十月二十七日の予定です。バザーは十一月二十四日で、この日までで信仰年が終了します。

◎当教会のホームページについて

内容の更新があまりできていないので、復活祭を目標にリニューアルを行います。よりよいものにできるよう、ご意見をお寄せください。

◎桑田神父様より

今日（十二月九日）は午後一時から「そもそも講座」を行いますので、ご参加ください。

◎次回は「信徒連絡会」として一月十三日

十時に大聖堂で開催します。

「全員参加！」

教会委員長 矢野 勉

早いもので、また新しい年を迎えました。昨年までは東日本大震災の復興で、社会の方向が大きく変わってしまい、またそれを機に私たちの生活や価値観も、一旦立ち止まって考える機会が与えられた様な気がします。

教会は昨年の十月十一日から今年の十一月二十四日まで、一人ひとりがもう一度自分の信仰を考えるようにと「信仰年」を定めました。「信仰」とは何だろう？どのようになれば「信仰」を深めることが出来るのか？・・・など考えれば、自分に思い当たる課題は沢山あります。

私が考える「信仰」とは単に神を信じ、忠実にカテキズムを守って生きる、と言うことだけではないと思います。私たちキリスト者はキリストの愛をいただくために洗礼を受け、その時に信仰宣言を行っている

のですから、キリストの愛を自ら実行し広く伝えなければ全く意味のない「信仰」になってしまいます。

以前からずつと感じていたことが「何のために自分は教会に行くのだろうか？」、という疑問でした。ある人は教会に自分一人ミサで祈り、御聖体をいただくことを目的にし、ある人は奉仕活動を目的としているかもしれません。もしこのようなことが教会の役割だとしたら、必ずしも田園調布教会である必要はないでしょう。逆に考えて田園調布教会のために私たちは何ができるのでしょうか？・・・

そこで今年は、信徒とこの教会に集う一人ひとりが「教会のために何ができるか？」を考え実行することを目標にしていきたいと思えます。スポーツに例えれば「全員参加」のプレーです。そのために次のことを目標とします。

- (1) 教会に集う全員が少なくとも一つ、教会のために何か力を尽くすこと。
- (2) 教会に集う皆がキリストの愛を実践できるように、活動の場の情報や教

会の動きなどをできるだけオープンに提供できる場を作ること。

- (3) 教会活動にだれでも関われる組織体制を作ること。

- (4) 信徒の役割として、自分の家である田園調布教会維持のため、信徒全員が月定献金を必ず納付すること。

以上の目標を信徒全員が共有し、実現できたら信仰の場としての素晴らしい生きた教会になるのではないのでしょうか。

これを実施するために、随時信徒全員へのご協力をお願いしますので、もし今後教会内で新しい動きがあった時、その一環だとしてご理解いただきたいと思います。

信仰年の締めめの年にあたり、大きな目標を掲げましたが、皆で力を合わせれば必ず目標を達成できると信じていますので、よろしくお願いいたします。



2013年度 田園調布教会 年間行事予定

2013年1月現在

月	日	曜日	教会暦	委員会・連絡会	教会行事	教区行事
1	1	火	神の母聖マリア		元旦ミサ(新年会10時ミサ後)	世界平和の日
	6	日	主の公現			
	8	火		教会委員会		
	13	日	主の洗礼	信徒連絡会	成人式	
	14	月・祝				東京教区年始の集い
	20	日			もちつき大会	
	27	日			田園調布地区諸教会合同祈祷会	ケルンデー/カトリック児童福祉の日(献金)
2	3	日				
	5	火		教会委員会		
	10	日		信徒連絡会		
	11	日・祝				世界病者の日
	13	水	灰の水曜日	↑		
	17	日				
	24	日		四	四旬節黙想会 (日程未定)	
3	3	日		旬		
	5	火		教会委員会		愛の献金(四旬節中)
	10	日		信徒連絡会		
	17	日			信徒総会	
	24	日	受難の主日	母	枝の主日	
	28	木	聖木曜日	↑		聖香油ミサ
	29	金	聖金曜日	聖週		聖地のための献金
	30	土	聖土曜日	間	復活徹夜祭	
	31	日	復活の主日	↓		
4	2	火		教会委員会		世界青年の日
	7	日				
	14	日		信徒連絡会	新人歓迎会	
	21	日				世界召命祈願の日
	28	日				
5	5	日				世界広報の日(献金)
	7	火		教会委員会		
	12	日		信徒連絡会	上野毛教会バザー 碑文谷教会バザー (日程未定)	
	19	日	聖霊降臨の主日			東京教区合同堅信式
	26	日				
6	2	日	キリストの聖体		初聖体	
	4	火		教会委員会		
	9	日		信徒連絡会		
	16	日				
	23	日				聖ベトロ使徒座への献金

月	日	曜日	教会暦	委員会・連絡会	教会行事	教区行事
7	2	火		教会委員会		
	7	日			サマーセール	
	14	日		信徒連絡会		
	21	日		教会委員研修会 (予定)		
	28	日				
8	4	日		教会委員会 信徒連絡会 夏休み		日本カトリック平和旬間 (8/6~8/15)
	11	日			世田谷南宣教協力体平和旬間行事 (各教会にて)	
	15	木	聖母の被昇天			
	18	日				
	25	日				
9	1	日				岡田大司教着座記念ミサ
	3	火		教会委員会		
	8	日		信徒連絡会		
	15	日			敬老の集い	
	22	日				世界難民移住移動者の日 (献金) / インターナショナルデー
	29	日				
10	1	火		教会連絡会		
	5	土			前夜祭 (野外ミサ)	
	6	日			聖フランシスコ祭	
	13	日		信徒連絡会		こどものミサ
	20	日		世田谷南宣教協力体合同堅信式 (田園調布) (10/27予定)		世界宣教の日 (献金)
	27	日				
11	3	日	死者の日			合同追悼ミサ
	5	火		教会委員会		
	10	日		信徒連絡会		
	17	日			七五三ミサ	聖書週間 (11/17~11/25)
	24	日	王であるキリスト		田園調布教会バザー	マンマーデー (献金) / 「信仰年」終了
12	1	日	↑			宣教地司祭育成の日 (献金)
	3	火	待	教会委員会	待降節黙想会 (日程未定)	
	8	日	降	信徒連絡会		カテドラル献堂記念ミサ
	15	日	節			
	22	日	↓			
	24	火	主の降誕 (夜半のミサ)			
	25	水	主の降誕 (日中のミサ)			
	29	日	聖家族			
2014年						
1	1	水	神の母聖マリア		元旦ミサ (新年会10時ミサ後)	世界平和の日

注：(献金)は教区行事への献金

ガーナ通信 ③

舟橋倫子

今回は、ノートルダム修道会のシスター達による、整形外科トレーニングセンターについてお話しします。ここでの活動は主に三部門に分かれています。まずは、義手や義足をつくるアトリエ。そして、バンに医者と技術者が乗って、ガーナ中をまわる移動チーム。さらに、子供達が義手や義足をつけて生活できるようにする訓練センターです。



アトリエでは、ここで専門的な職業訓練を受けた人たちが一つ一つ手作りして、その人にあつた義手や義足を作りあげていきます。材料は様々な廃材のリサイクル。

例えば雨樋などをうまく使つて義足の支柱にしたり、タイヤをクッションにしたり様々な工夫がされています。そして、そこで丁寧な仕上げられてゆくもののできなことといったありません。

片方の足の短さを補うための栗色の革靴なんて、軽くておしゃやれで、パリのお店のウインドウにあつてもおかしくないくらい。

そこには、すこしでも楽に、気持ちよく履いてもらおうという気持ちがかめられています。このアトリエは、ガーナにやってきた一人のオランダ人の修道士によつて一九六一年に始められました。

貧しい国では、女性、そして子供達が弱者です。中でも、障害のある子供達は最も顧みられない存在でした（残念ながら、この図式は現在にもあてはまります）。でも、身体の欠損は、義手や義足で補いさえすれば、普通に

生活していける障害です。それらを作る技術をもつていた彼は、そういった物が全くないガーナの現状をみて、職人の養成とアトリエの設置の必要性を痛感し、たった一人でその活動を始めたのです。

その後、カナダから子供の教育のためにやってきたシスター・エリザベスが、彼の活動に強く心を動かされ、一緒にこのトレーニングセンターを支えてきました。彼女は今でも現役で、ガーナや子供達をめぐる問題について、私たちに熱心に語ってくれました。

当時、そして今も病院や施設の不足はガーナにおいて大きな問題です。このセンターでは1965年から、ガーナのどこにでも出かけてゆく移動チームが編成され、めざましい成果をあげています。

移動が困難で経済的にも苦しい人達にとつて、これはまさに生命線です。患者はガーナ中に三五〇〇人、移動距離は二〇〇〇kmにも及びます。でもこのチームにはたった一台のバンと二人のスタッフしかいません。

私たちが訪れた時、彼らは紛争の多発する北部に出かけていたのですが、小競り合いが起こってしまったために足止めされいるとのことでした。

そして一九六七年から、子供達の訓練・教育施設が設置されました。

身体に欠損のある子供達は、だいたい三ヶ月から六ヶ月、ここで治療と義手や義足を使いこなすために必要な訓練を受けます。

ちゃんと筋肉がつかないと、そういった物をつけることが出来ないので。その間に教育が受けられるように教室があり、世界各国からやってくる先生達によって実に家庭的な雰囲気の中で授業が行われていました。

海外青年協力隊のすてきな日本人女性もいましたよ。ここには、毎年約250人の子供達が受け入れられています。

この続きはまた来月号で！

バザー開催(十一月二十五日)

今年もバザーは、皆様のご協力により盛況のうちに行了された。総収入は、三百万円を超え、すべて復興支援とオルガン維持費に充当しました。

子供たちに人気のコーナー



ワインにいいね！(背後から)

堅信の喜び

マリヤ・クニラ・セシリア

竹本恵理子

十月二十八日、二教会合同で、三十八名の受
堅者と共に、上野毛教会にて家族と皆様に見
守られる中、堅信の秘跡を授けて頂きまし
た。

幸田司教様、竹内神父様、教会の方々にお世話
になり、心より御礼申し上げます。

今年の四月に受洗をしましたが、神様に導
かれて受堅が出来ましたことに感謝いたしま
す。

幸田司教様のお説教の中で三つの事を大切
にして下さいとお願いがありました。

「聖書を読む」「祈りをする」「信仰の仲間を
大事にする」という言葉でした。

私はこの三つの事を大切にしていこうから
信仰を深めて参りたいと思います。



今月の「俳句」

坂井啓児 吟

一月一日 神の母聖マリアの祭日

世界平和の日

淑氣みつ 聖母みまもる 遠嶺白



鐘声の「シヤロム・シヤロム」と 初空へ

一夜あけ 目映き岩窟ルルド 初明かり

初鳩の あまねく空に 飛翔せり

一月六日 主の公現 神が人間の姿として世に公に現れた記念日
みどり児の 世に授かりて 星の牙ゆ

(訂正)

昨十二月号「主の降臨祭は「合掌」でなく「合唱」です。

信者動静

2012・11・10-2012・12・9

その後の転入 (ようこそ)

山中加代子 長崎教区田平教会より

その後の転出 (お元気で)

水野正望 東京教区麻布教会へ

初金懇話会

2月1日(金)

10時~ミサ

11時~講話

晴佐久神父様

12時~食事会

(当日申込)

500円

福音宣教委員会